



ありがとう、ロータリアン！ ⑬

よねやま親善大使に選ばれて



広島大学大学院国際協力研究科客員研究員

ヤン シャオピン
楊 小平さん

出身：中国

奨学期間：2011 - 12

学校名：広島大学大学院

世話クラブ：東広島 21 RC

私は中国の四川大学で日本語を専攻し、2006年10月に留学生として来日しました。留学先に日本を選んだ理由は、隣国の日本のことをもっと知り、日中の平和的友好関係のための力になりたいと思ったからです。

大学では文化人類学の観点から、日本と中国における戦争の歴史に対する相互理解と和解を通じて、「どのようにしたら両国の平和と友好関係を築くことができるのか」について研究をしています。これまで留学生として日本で暮らす中で、「国」という壁がもたらす隔たりを痛感することも多々ありました。だからこそ、その壁を乗り越える相互理解がとても大切だと感じています。

机上の研究だけでなく、実地で活動したいと思い、5年前から、広島平和記念資料館のピースボランティアガイドとして、来館者に原爆の展示資料を解説する活動を行っています。

また、2011年から中国への平和スタディーツアーを実施しています。これまでに2回、計30人の日本人参加者を引率して、中国の上海、南京、重慶、成都、大連などの都市を訪問し、現地の大学生や住民との交流会を行ってきました。

日本と中国では戦争の歴史に対する理解は異なりますが、これからの社会を担う私たちの世代は、「平和の精神と理想」をもって、日中両国の友好のために努力していかなければならないと考えます。研究者として、両国の相互理解を阻む問

題を乗り越え、人々をつなげる懸け橋になることが私の夢です。

博士課程の1年間、米山奨学生として東広島21ロータリークラブの皆さんに大変お世話になりました。卒業後も、クラブのイベントによく招いていただいています。

特に、カウンセラーの桑森義信さんは、今でも研究の進み具合や日々の生活を気にかけて、よく電話をかけてくださいます。桑森さんにはいつも親心のような優しさを感じています。これからの人生において模範となる素晴らしい出会いであり、一生の財産です。

今年3月、多くの皆さんからの支援のおかげで博士号を取得し、研究者としての一步を踏み出すことができました。また、よねやま親善大使にも選ばれ、大変光栄です。これからも「四つのテスト」を人生の指針として守り、次のような活動を行っていくことを誓います。

1つ目は、ロータリーの精神をもって、積極的にロータリーの活動に参加します。

2つ目は、日中間の相互理解と友好関係のため、引き続き平和スタディーツアーを主催していきます。

3つ目は、後輩たちに自分の経験を分かち合いながら奉仕を行っていきます。



広島大学の留学生に広島平和記念資料館の展示品を解説

米山記念奨学会では昨年、事業創設 60 周年を記念して「優秀米山学友賞」を設けました。日本国内で活躍する優秀な米山学友を表彰し、親善大使に任命して事業のPRに協力してもらおうという試みです。自薦他薦で応募した 82 人から、広報委員会と常務理事会での厳正なる審査を経て、楊小平さんヤンシャオピンと尤銘煌さんユウミンホアンの受賞が決定しました。初めのよねやま親善大使として、これから 2 年間活動していただく、二人からのメッセージをご紹介します。



山形大学基盤教育院准教授

尤 銘煌さん

出身：台湾

奨学期間：2003 - 04

学校名：愛知学院大学大学院

世話クラブ：津島RC

私は学部課程と博士課程の 2 回、日本に留学しました。2 度目の留学は家族を抱えての研究生生活で、非常に大変でした。ロータリー米山記念奨学会の貴重な支援と多くのロータリアンの精神的な支えがなかったら、私一人の力では博士号取得は到底達成できませんでした。この場を借りて、ロータリアンの皆さまに心から感謝します。

40 歳で山形大学の留学生担当の教職に就いてからの約 10 年間、各国からの留学生に日本語、日本文化に関する知識を授け、国際社会で活躍する人材の育成に努めてきました。私が担当している「地域のリソースを生かした日本文化体験授業」について、紹介させてください。

毎学期、約 30 人が私の授業を受け、着付け、茶道、生け花、和菓子作り、そば打ち、こけし絵付け、畳作りなど、20 もの日本文化体験を通じて山形の人々と交流しています。その様子を収録したビデオ作品は 2011 年、地元のコンテストで最優秀賞を受賞しました。

巣立った教え子たちは世界中で活躍しています。大阪のフィリピン領事館、モンゴルの日本大使館、タイの JICA（国際協力機構）に勤める人、中国やアフリカで大学教員になった教え子もたくさんいます。大手企業の面接で、習得させた南京玉すだれを披露して、見事に採用された留学生もいました。

こうした教え子たちの活躍を見るたびに、うれしさと胸がいっぱいになります。台湾で兵役に就いていた時、実際の戦争に近い過酷な体験をした私にとって、戦争のない世界平和は、一生の夢です。

山形に着任してから、世話クラブの第 2760 地区

(愛知県)・津島ロータリークラブの皆さんが 3 回も訪ねて来てくれました。カウンセラーの三谷栄一さんは兄貴のような存在で、今でもよく連絡を取り合い、アドバイスをいただいています。よねやま親善大使に推薦して下さったのも三谷さんでした。

今回、初めのよねやま親善大使に選ばれて大変光栄です。これまでの活動を県外に広げ、多くのロータリークラブや一般企業、市民の皆さんに、ロータリー米山記念奨学事業を通じて、国際理解と世界平和の重要性をもっと理解してもらえるよう努力していきたいと思います。

米山梅吉翁と私は奇遇にも、留学から帰国した歳、結婚した歳、長女をもうけた歳まで同じで、ほかにもアメリカ留学歴や職歴、社交的な性格など、共通点がいくつもあります。これからも尊敬する翁の遺志と精神を少しでも受け継いでいけるように努力していきます。今後ともご指導、ご支援のほど、よろしくお願ひします。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会へ。

TEL：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



南京玉すだれを披露する山形大学の留学生に囲まれて